

## ② Modeling the Generational Infrastructure of Information Technology

B.R.Gaines(Univ. of Calgary,カナダ)

### 発表要旨

本発表では、情報処理技術の世代間におけるインフラストラクチャの社会経済学的なモデルを、相互に補い合う技術の学習曲線として論じた。発表者はこのモデルに基づき、研究と製品開発の傾向を分析している。また、“第五世代プロジェクト”を特徴づける、“コンピュータサイエンス”から“知識科学”への変移についても、このモデルに基づき分析を行なっている。第五世代プロジェクトで行なわれた研究についての評価と将来の研究の方向性についても論じている。

### 質疑応答

質問：あなたは、最初の方のスライドの中にMathematicaをあげてらっしゃいましたが、どうしてMathematicaがその中に入っているのか良く理解できません。どういった意味でMathematicaをリストの中に入れたのですか？

回答：Mathematicaは1988年台の代表的なソフトウェアと考えることができます。Mathematicaはある意味で、数学者のもつ専門的な知識を獲得した結果だと考えます。

質問：私は、最後のスライドが面白いと思いました。あなたは、その中でポストモダンシステム工学の意図するところは、様々な領域における技術の統合が重要だとおっしゃいましたが、その点（ポストモダンということ）に関してもっと詳しくお聞きしたい。

回答：私はポストモダンという言葉で、現在哲学で使われてる意味で使っています。本当に必要なことは、様々な領域で個々に研究されているだけではなく、それらを統合してどのようにして効果的なシステムを作っていくかということです。

質問：あなたは、あなたの前の発表者の意見に賛成しますか、反対しますか？

回答：ちょっと難しいですね。しかし、私の発表と彼の発表は矛盾しないと思います。

質問：ICOTで行なわれた主要な研究の1つに、並列計算機の開発があります。あなたの御発表では、このことに全く触れられていませんでしたが、どうしてでしょう？ 並列計算機、あるいは、超並列計算機と情報処理のトレンドとの関わりについてお聞かせ下さい。

回答：並列計算機上のソフトウェアに関して多くの理論的な研究をやらなければ、並列計算機をうまく使うことはできないと考えます。まず、基礎的な研究が必要になります。

質問：あなたの論文の参考文献で引用されているものは、多少古いと思われる。もっと、第五世代の最近の成果を引用して下さい。

回答：分かりました。

質問：最後に1つだけコメントがあります。あなたの所属ですが、知識科学研究所 (Knowledge Science Lab.) からポストモダンサイエンス研究所とでもしたらどうでしょう。

回答：(笑)それは良い考えですね。最近, Knowledge Scienceというのも古くなってきたので, ちょうど変えようかと思っていました。